

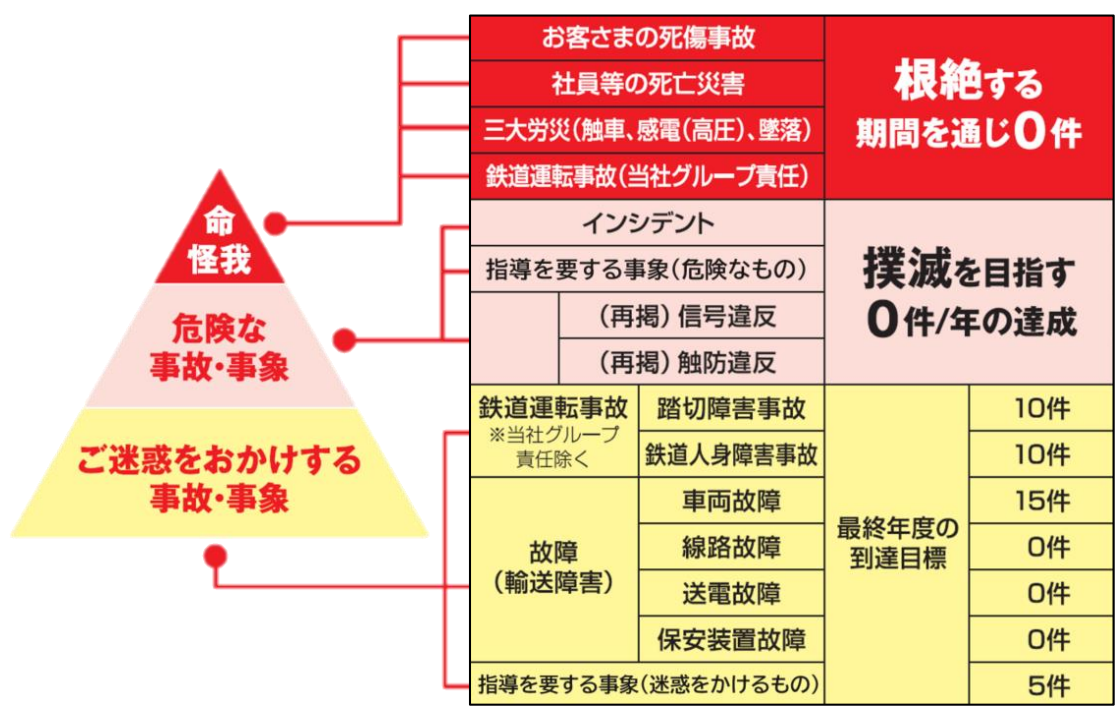
2-1 安全中期計画(2020-2022)概要

安全中期計画(2020-2022)は、JR九州グループの鉄道事業部門における3か年の取り組み方針と重点施策を取りまとめたものです。この計画に沿って安全基本方針をはじめとした安全に関する各種取り組みや施策を展開してきました。

鉄道の安全確保に関する方針

▶ 目標

【お客さま及び社員等の命・怪我】につながる事故を根絶する
 そのために、これを脅かす【危険な事故・事象】の撲滅を目指す
 さらに、【ご迷惑をおかけする事故・事象】も低減を図る



▶ 目標達成に向けてなすべきこと

- 最重点項目<信号違反・触防違反撲滅>への取り組み**
 前の3か年計画の期間で、増加傾向にあった事象のうち、特に危険な「信号違反」「触防違反」について、特に重点をおいて対策に取り組みます。
- 今までも、これからも着実に実施する取り組み**
 さまざまな施策だけでなく、私たち自身の成長のための取り組みについても、継続していくべきものは見直しを行いつつ着実に実施していきます。
- 新たに始める取り組み**
 さまざまな事故・事象の未然防止や再発防止の取り組みの展開のため、IoT、ビッグデータ、画像認識等の新技術の導入によるCBMを含めた設備管理手法等の革新に取り組みます。
- 次のステップに向け検証する取り組み**
 環境の変化、技術の進歩とともに、安全への取り組みも進化しなければならず、未来に向けた挑戦を続けます。

2-2 2020年度 安全基本方針

「安全中期計画(2020-2022)」の目標達成に向け、「それ大丈夫? 大丈夫!! ~ルールを守り、命を守る~」をスローガンとした安全創造運動2020を展開するとともに、安全に関する年度の重点実施項目を以下のように定めて実施しました。

安全創造運動2020

それ大丈夫?
大丈夫!!

ルールを守り、
命を守る。

鉄道の安全確保
に関する方針

▶ 重点実施項目

1. 【最重点項目】信号違反・触防違反撲滅の取り組み

- シミュレータ訓練等による正しい基本動作の定着と“信号を見る”ことに特化した対策の推進
- 正しい基本動作の実行度の確認と定着するまでの繰り返し指導の実施
- 触車事故防止に関わる遵守事項の徹底的な教育と理解度の把握
- 自らが触車事故に繋がるあらゆるリスクを考え、触車事故防止に関するルールを学び、実行する社員の育成

2. 今までも、これからも着実に実施する取り組み

- 安全監査・安全点検や輸送安全総点検などのPDCAサイクルの円滑な実施
- さまざまな研修、教育メニューに加えて行うそれぞれの自己研鑽
- 安全を向上しヒューマンエラーを防止するためのバックアップ設備の整備
- 大規模地震への備え、南海トラフ巨大地震に対応する津波対策
- 老朽化した車両、設備、機械の計画的な更新やリニューアル

3. 新たに始める取り組み

- 車両・設備の状態に応じた保守
- 部外データを活用した災害対策
- ICT技術の導入による情報活用の拡大
- ドローンを活用したより精度の高い保守点検
- カメラやセンサーを搭載した列車を活用した点検
- スマートデバイスを活用したヒューマンエラー防止

4. 次のステップに向け検証する取り組み

- CBMの導入による保守サイクルの抜本的見直し
- センサーやAIを使用した社員等の不安全行動の防止
- お客さまを危険にさらす事象を検知するAI画像認識の活用
- ロボット技術を活用した保守方法の改革